



校報 水糸者

No. 885

29年度・第58号



夏休み中も、自分の財産となる家庭学習を



本校では『家庭学習』については、PTAとも協議しながら「わが家のまなびフェスト」も設けているように、重点の1つとして取り組みを続けています。

今回の『家庭学習週間』の結果については、7月11日付の文書と7月14日発行の校報882号でも詳しくお知らせしたとおりですが、「1日の平均学習時間」、「ノーメディア（10の約束）」とも、概ね昨年度の結果を上回っています。これもひとえに保護者の皆さんのご理解とご協力の賜物です。ありがとうございました。

夏休み中も子ども達が勉強に集中しやすい環境作り（声掛けやノーテレビ、ゲームのやり過ぎなど）について、今後ともよろしくお願ひします。

調べ物を行う時、辞書よりもスマホやパソコンの方が早くて多くの情報を一気に入手できて便利です。だからといって、子ども達がいつでもスマホやパソコンを辞書代わりに使うことは、小学校期の子ども達にはお勧めできないことです。それは、スマホやパソコンなどの使用では、脳が活性化されないからです。『脳の健全な発育』については、今までも校報に掲載してきましたが、この時期の子ども達は脳がどんどん発達していきます。

脳に正しい刺激を与える学習方法（書く・読むなど）は、ますます大切にされなければいけない健全な発育にとって『不易の学習』なのです。

AI時代が目の前まで迫っている現代は、小学校のうちから『脳を正しく刺激し、自ら学ぶ姿勢や意欲、学び方』を身につけておくことが大切です。その力は、中学、高校…と進学、就職した時にも確実に役立っていきます。

学校でもご家庭でも「正しく学ぶ習慣」をしっかりとつけておきたいものですね。

スマホ、通信ゲーム…大丈夫ですか？ ～授業に支障が生じ、困っています～

連日の猛暑で、夏バテ気味の子が増え始め、保健室に来室する子がぐんと増えていきます。中には、通信ゲームやスマホでのラインを遅い時間までやっている子も見られます。そのような子は、**授業中の居眠り**や授業途中に体調不良を訴え、**保健室で休養**しています。

スマホや通信ゲームなどの、『**ルールなき使用**』や『**親の監視外使用**』は本校の学校生活に大きな支障が生じていますので、お子さんのスマホや通信ゲームの使用実態や家庭内のきまりについて、今一度確認するようお願いいたします。

まなびフェストでも種小っ子のがんばりがわかります！

～種市小まなびフェスト・1学期の結果紹介～

本校のまなびフェストについては、4月14日発行の校報833号でお知らせしたとおりですが、1学期末における達成状況がまとまりましたので、お知らせいたします。

なお、このデータは、先月の地区懇談会でもお知らせした内容です。

学校教育目標（子ども像）	種市小まなびフェスト	
進んで勉強する子ども 【頭が元気（知）】 	1年	話し手に注目して聞く事ができる。
	2年	基本的な話し方や聞き方を身につけ、進んで発表する。
	3年	話す人を見て聞き、反応する。
	4年	学ぶ意欲を持って授業に臨み、1単位時間の中でわかった事が言えるようにする。
	5年	話す、聞く、書くのメリハリをつける。
	6年	授業中、自分の考えを持って参加する。
全校達成率（6月時点の平均値）	71.3%（「よくできた」、「できた」と自己評価した児童の割合）	
思いやりのある子ども 【心が元気（徳）】 	1年	友達や先生に笑顔であいさつができる。
	2年	はっきりとした声であいさつや返事ができる。
	3年	気持ちの良いあいさつをする。
	4年	校内外で出会った人に進んであいさつをする。
	5年	廊下などですれ違った人に進んであいさつをする。
	6年	最高学年として下級生の手本となるあいさつと返事をする。
全校達成率（6月時点の平均値）	93.8%（「よくできた」、「できた」と自己評価した児童の割合）	
進んで心と体を きたえる子ども 【体が元気（体）】 	1年	天気の良い日は外で元気に遊ぶ。
	2年	天気の良い日には外で遊び、なわとびを1分間跳び続ける事ができる。
	3年	外で元気に遊ぶ。
	4年	休み時間に友達を誘って外で体を動かして遊ぶ。
	5年	なわとびやマラソンを年間継続して取り組む。
	6年	大縄跳びを5分間で600回跳べるよう練習を続ける。
全校達成率（6月時点の平均値）	86.4%（「よくできた」、「できた」と自己評価した児童の割合）	

【傾向・方向性】

- ① 1学期の段階でも、かなりの達成率を示している。3学期末には達成率100%をめざし今後とも計画的に取り組んでいきます。
- ② 数値ありきとならないよう、子ども達も充実感が味わえるような取り組みにしていきたいと思います。
- ③ 今後とも、子ども達の笑顔が増えるまなびフェストとなるよう、努力を続けます。
- ④ 「もう少し」と回答している子ども達への個別支援を続け、意欲と自信、自己肯定感を高める手立てを具体的に実施していきます。